

「指導して下さっている先生方に恩返しをしないといけないという気持ちを持っていて、日本一になれてうれしいです。支えて下さっている多くのお陰です」。妹尾舞香さんは満面の笑みで、優勝の喜びを口にしました。鹿屋体育大学に進学を決



9月19日にジエイトアリーナ奈良で開催された「第60回全日本女子剣道選手権大会」において、妹尾舞香さん4段（武道課程3年、中村学園女子高等学校・福岡）が志藤綾子5段（伊田テフノス）を破り、女子剣道日本一に輝きました。2度目の出場で念願の初優勝を果たした妹尾さんに話を聞きました。

「指導して下さっている先生方に恩返しをしないといけないという気持ちを持っていて、日本一になれてうれしいです。支えて下さっている多くのお陰です」。妹尾舞香さんは満面の笑みで、優勝の喜びを口にしました。鹿屋体育大学に進学を決

祝優勝！ 妹尾舞香さん



この新聞は公益財団法人鹿屋体育大学体育・スポーツ振興教育財団の支援を得て鹿屋体育大学の学生及び関係者の活躍・動向等をお知らせしています。

編集：鹿屋体育大学
発行：公益財団法人鹿屋体育大学体育・スポーツ振興教育財団
編集責任者：鹿屋体育大学長
発行人（発行責任者）：財団理事長 風呂井 敬
財団事務局：〒891-2393 鹿屋市白水町1番地内 0994-46-4827（直）

祝優勝！ 全日本大学対抗選手権自転車競技大会 女子個人ロード・石上夢乃さん 女子総合・5年ぶり14回目

文部科学大臣杯第76回全日本大学対抗選手権自転車競技大会のトラックレースが8月13日～15日に松本市美鈴湖自転車競技場、ロードレースが8月21日～22日に群馬サイフルスポーツセンターで行われ、女子ロードレースで石上夢乃さん（ラポーツ総合課程3年、横浜創学館高等学校・神奈川県）が優勝しました。総合成績を大学対抗で競う女子総合は、トラック終了時点で1位の法政大学に6点差がついていましたが、石上さんに続き成海綾香さん（同3年、南大隅高校・鹿児島県）が2位、鹿屋女子ロードレースの3位に入ったことで逆転し、5年ぶり14回目の優勝を果たしました。山口大顧問教員、長島末史子顧問教員、石上さん、成海さんの4人が優勝カップと賞状を手に入れた。山口大顧問教員、石上さん、成海さん、岡山高等専門学校（岡山）とのペアで優勝した成海さんは「私も体調をすつと崩れており、測定値が高校1年生のときにトレセンで測らせてもらった時よりも低く、モチベーションも下がっ



左から松下学長、成海さん、石上さん、山口顧問教員、長島顧問教員



試合中にゴールを目指して並んで走る石上さんと成海さん

体力値に合わせた練習を行い、練習内容を可視化できたこと。もうひとつは部員のだれも優勝することの価値を知らないところからスタートだったので、私が大学4年生の時に総合優勝したときの雰囲気を感じてきたことにあると思います」と答えました。

長島顧問教員は「山口先生の監督としてのスタートをい形で、という本人たちの気持ちもあつたと思いますが、成海さんのコメントにあった、トレセン協力校として高校時代のデータと比較できる本学ならではの良さを生かされたのも今回の結果につながったと思います。今後も継続していくことで、競技力向上にも取り組むと感じました」とコメントしました。

少しばかり旧い車に乗っている。当然部品の調達もままならないのでオーナーズクラブの助けを借りて維持している。全国で集まりがあり、一番遠いところでは北海道の宗谷岬まで行ったこともある。若い頃だからできたことでも、せいぜい九州管内でもなく、せいで九州管内であるがコロナ禍で永く行けない状況である。去年から車2台とフェリーを乗り継いで通勤している。通勤してみるとフェリーや道路からの錦江湾、開聞岳（薩摩富士）の眺め等、毎日の景色の良さに感動することしきりである。着任早々、水害で道路が寸断され立ち往生してしまつた（被災者の方々は大変だつたこととお察しします。体大の学生もボランティアで復旧作業に参加しています）。▼その時にコミュニティFM（FMかのや）が大変役立った。他からの情報がない中、この番組だけが全てのコーナーを中止して交通情報を伝えていてとてもありがたかつた。このような時こそコミュニティFMの存在意義があると思う。番組は地元の情報盛り沢山で、パーソナリティーの明るさと確かなアナウンス技術。また、ネイティブならではのこごま弁講座も大変面白い。ゲストで体大の先生もよく登場する。▼昨年から全国的なコロナ禍で大変な中、体大は地元の方々に大変良くしていただいている。早く収束して元の生活に戻ることを願っている。（Y・K）

「わかくさ」

「わかくさ」

スポーツを愛するすべての人とともに

ミズノスポーツ振興財団は、スポーツの振興・普及を目指し、スポーツを愛する人たちを応援しています。

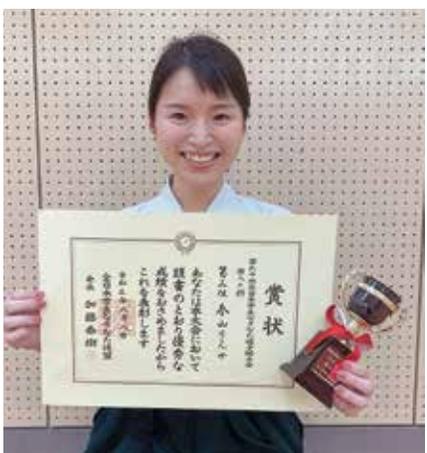
公益財団法人 ミズノスポーツ振興財団

全日本学生なぎなた選手権大会 なぎなた部が団体の部(女子)で優勝

8月8日に山形県総合運動公園総合体育館で開催された「第60回全日本学生なぎなた選手権大会」において、本学なぎなた部が試合競技団体の部(女子)で優勝しました。メンバーは春山りんかさん(武道課程4年)、熊本西高等学校・熊本、安次嶺心さん(同3年)、首里高等学校・沖繩)、神山愛姫さん(同3年)、北条高等学校・愛媛)、名和菜さん(同3年)、大分西高等学校・大分)、宮城昭奈さん(同1年)、首里高等学校・沖繩)、上間朱梨さん(同4年)、知念高等学校・沖繩)の6人。団体は平成27年度大会から3連覇のあと2年連続準優勝、昨年度は新型コロナウィルスの影響で大会が中止になったため、今回で4度目の優勝となりました。また、演技競技の部で上間さんと秋葉笑里さん(同2年、川辺高等学校・鹿児島)のペアが準優勝、個人の部で春山さんが3位に輝きました。

今回は最後の試合となった主将の春山りんかさんは、「昨年インカレが中止になって4年生の悔し涙を目にしたとき、来年は絶対に優勝しよう」と誓った強い思いが優勝につながったと思っております」と優勝の喜びを話してくれました。モチベーションを維持するために、「常に全員で「優勝しよう」と口に出して

きたそうです。1年生、2年生の時に個人の部で優勝していた春山さんは3連覇を逃した形になりましたが、「キャプテンとして団体に賭ける思いが強く、団体戦で力を出し切ってしまっただけで、団体戦後の個人戦では気持ちを整えるのが難しかったです。団体で念願の優勝を果たすことができたので、悔いなくすべし」と、卒業後の活躍も今から楽しみます。



個人3位の賞状を手に、キャプテンとしての務めを果たし笑顔の春山りんかさん



写真後列左から、春山さん、安次嶺さん、名和さん、前列左から上間さん、神山さん、宮城さん

8月5日、東京オリンピック2020の札幌会場で亀井晶さんは各国の競歩の選手たちの足元をじっと見つめていた。スポーツメーカーミズノのシューズ専門クラフトマンとして日本代表の4人の選手一人一人の足に合わせた特別注文のシューズを作成してきただけに、海外の選手の足元もおのずと気になる。マラソンは厚底が主流となっているが、競歩はうす底のソールが良く曲がるものが主流だ。片足が必ず地面についていなくてはいけなくて、厚底は跳ねてしまうので効果的ではない。亀井さんは世界のトップアスリートの足元を見ながら自らの判断が間違っていないことを確認していた。

競歩の選手から寄せられる信頼は大きい。選手たちの要望に合わせて自分たちの経験フルを生かして作ったシューズを一人につき4足手渡している。

同じように制作したはずのシューズでも結局その中から本番用として選ばれるのは1足だけ。その1足が選手の鍛え上げた肉体を支えて最大のパフォーマンスを引き出すのだ。東京オリンピックで日本の陸上競技で初のメダルとなった男子20キロ競歩、池田向希選手、銀と山西利和選手の銅メダルは亀井さんの努力の結晶でもあったと言っている。

「試合中は何か不都合が起きてしまわないかひやひやしています。終わってとたんうれいしというよりもほっとするというのが正直なところですね」

こう話す亀井さんの実直さと責任感はその表情に表れている。

名古屋出身の亀井さんが鹿屋体育大学に進んだのが1988年のこと。社会体育を専攻しながら陸上競技部の短距離やハードルに汗を流していた。鹿屋の夏は照りつける太陽が海の反射を付けて全てがまぶしい。トレーニングが終わって皆で海洋スポーツセンターまで移動し、海で泳いだのがいい思い出という。トレンディドラマが流行するバブル全盛期の時代、都会へのがれを少しばかり抱きながら鹿屋での日々を満喫していた。1992年の卒業式が、初めて水野講堂で執り行われることとなり、列席された先代の水野会長に挨拶できたのがいい思い出という。

律義さや人とのコミュニケーションを大切にしている亀井さんは、当時のまま変わらない。

製造されるシューズとは異なり、一人一人のアスリートに合わせて足型をとり、裁断、縫製、成形を行って作る特注品製造の仕事だ。人工知能などでもやってしまう時代に、その作業は昔とほとんど変わらない仕事と

「100人いれば足の形は100通りです。さらに一人一人の要望はとも抽象的なんです」一度手渡したシューズの履き心地を聞きながらよりよいシューズへと作り上げていく過程は容易ではない。選手は「この辺をちょっとだけ伸ばしてほしい」などとニュアンスで表現してくる。それを亀井さんは頭の中で数値化して要望を受け取っていく。このやり取りの中でクラフトマンと選手との信頼関係が作り上げられていくのだ。

リオデジャネイロオリンピックの銀メダリスト飯塚翔太のシューズを担当してきたのも亀井さんだ。様々な要望を聞き入れながら丹念に作り上げてきたシューズは五輪の本番用に最低2足は用意する。万が一盗難にあっても視野に入れていたのだ。念には念を入れての準備に頭が下がる。

飯塚選手はこれまで折を見ては鹿屋体育大学のスポーツパフォーマンス研究センターを使って測定を行ってきた。しかし、コロナ禍にも見舞われたこともあり、亀井さんが同行する機会が残念ながら見送られてきた。コロナが落ち着いたらぜひスポーツパフォーマンス研究センターを見てみたいと言葉を弾ませる亀井さん。新たなプロフェッショナルの眼を持った亀井さんに、センターはどのよう

に映るのだろうか。これまでで最もうれしかったことは何かと聞く。と意外な答えが返ってきた。特注シューズはトッ

「100人いれば足の形は100通りです。さらに一人一人の要望はとも抽象的なんです」一度手渡したシューズの履き心地を聞きながらよりよいシューズへと作り上げていく過程は容易ではない。選手は「この辺をちょっとだけ伸ばしてほしい」などとニュアンスで表現してくる。それを亀井さんは頭の中で数値化して要望を受け取っていく。このやり取りの中でクラフトマンと選手との信頼関係が作り上げられていくのだ。

リオデジャネイロオリンピックの銀メダリスト飯塚翔太のシューズを担当してきたのも亀井さんだ。様々な要望を聞き入れながら丹念に作り上げてきたシューズは五輪の本番用に最低2足は用意する。万が一盗難にあっても視野に入れていたのだ。念には念を入れての準備に頭が下がる。

飯塚選手はこれまで折を見ては鹿屋体育大学のスポーツパフォーマンス研究センターを使って測定を行ってきた。しかし、コロナ禍にも見舞われたこともあり、亀井さんが同行する機会が残念ながら見送られてきた。コロナが落ち着いたらぜひスポーツパフォーマンス研究センターを見てみたいと言葉を弾ませる亀井さん。新たなプロフェッショナルの眼を持った亀井さんに、センターはどのよう

に映るのだろうか。これまでで最もうれしかったことは何かと聞く。と意外な答えが返ってきた。特注シューズはトッ

卒業生インタビュー

信頼されるクラフトマン

ミズノテクニクス株式会社
5期生 亀井 晶さん

【プロフィール】
かめい・あきら。1970(昭和45)年2月15日生まれ。愛知県名古屋市出身。愛知県立惟信高校～鹿屋体育大学体育学部体育・スポーツ課程。1992(平成4)年3月卒業。
ミズノテクニクス株式会社山崎ランバード工場製造課
トップフォロー・リペア担当 班長

自宅・アルバイト先 ← DIRECT! → 自動車学校 ← DIRECT! → 学校・寮

★その日のスケジュールに合わせて1時間おきにダイレクト送迎 忙しい学校生活の強い味方です!!

★提携会社による分割払いも月々5000円からご利用になれます

心豊かな車社会を願う
寿自動車学校

ご予約・お問い合わせ TEL 0994-43-2627 E-mail: info@kotobuki-ds.jp

〒893-0013 鹿児島県鹿屋市礼元1-13-30 県公安委員会指定教習所[技能試験免除]
ホームページURL http://kotobuki-ds.jp

Kubota 農業機械
株式会社
ミズホ商会

http://www.mizuho.kubota.ne.jp

〒893-0009
鹿児島県鹿屋市大手町12番1号
TEL (0994) 43-4178
FAX (0994) 44-9371

【営業所】
鹿屋・高山・志布志・岩川・
牧之原・野方・垂水・大根占

汲取の御注文
浄化槽の管理

水質安全に
全力投球

鹿屋市許 株式会社 西日本浄化サービス
代表取締役 田中ふみ子
鹿屋市王子町4531-2
TEL (0994) 43-3425

あなたの町に、レモンガス

株式会社レモンガスかこしま
鹿屋支店

鹿屋市大浦町11423番地1
0994-42-2181

蒼天

羽ばたけ
大空へ

新聞

この新聞は公益財団法人鹿屋体育大学体育・スポーツ振興教育財団の支援を得て鹿屋体育大学の学生及び関係者の活躍・動向等をお知らせしています。
編集：鹿屋体育大学
発行：公益財団法人鹿屋体育大学体育・スポーツ振興教育財団
編集責任者：鹿屋体育大学長 風呂井 敬
発行人（発行責任者）：財団理事長 風呂井 敬
財団事務局：〒891-2393 鹿屋市白水町1番地内 0994-46-4827（直）

開催日

2021年9月25日

開催場所

鹿屋体育大学 水野講堂 及び ライブ配信

鹿屋体育大学は、令和3年10月1日に開学40周年を迎えました。9月25日（土）に開学四十周年記念事業を開催しましたが、新型コロナウイルス対策で出席者を県内在住者に限定し、関係者や教職員、学生ら約160人が集いました。記念式典の前に水野講堂横では大学の成長と発展を願い、勝利と栄光のシンボルとされる月桂樹の植樹が行われ、記念式典終了後は記念講演会を第1部と2部に分けて行いました。

40周年記念事業

号外 鹿屋体育大学開学



植樹をする松下雅雄学長と藤本徳昭副知事(塩田康一知事代理)



オンライン講演会で金メダルを披露する柴田亜衣さん

第2部ではMBC南日本放送アナウンサーの松木圭介さんを進行役に、「鹿屋から掴んだオリンピックとして今」をテーマに山本さくらさん、宮田悠佑さん、橋本英也さん、高橋航太郎さんの4人の卒業生オンラインピアンから届いたビデオレターを交えながら、柴田さんとのトークセッションが繰り広げられました。

てきた鹿屋体育大学の特色をさらに充実・発展させていきたいと思います」と締めくくりました。
続く記念講演会の第1部では、卒業生でアテネ五輪競泳女子800m自由形金メダリストの柴田亜衣さんが「水泳と私」目標を持つことの大切さ」と題し、東京からオンラインで講演を行いました。3歳から水泳を始めた柴田さんは「鹿屋体育大学に入学して、水泳部の先輩が日本代表になっているのを見て、私もなれるんじゃないかと思って日本代表になることを目標に1年1年を過ごしていたら、たどり着いたのがオリンピックだった。具体的な目標を持つことが大事」と話しました。また金メダルを取った理由は2つあって、1つはアテネ五輪で競泳チームのキャプテンを務めた山本貴司さんの「最高のパフォーマンスをするには適度な緊張とリラクセスが必要だ」という言葉を聞いて、緊張することは悪いことではないんだということに気がついたことで本番でもリラクセスできたこと、もうひとつは当時の水泳部の田中孝夫監督の「あわてず、あせらず、あきらめず」の教えを胸に秘め、「オリンピックといえども泳いで帰ってくるのはどの大会も変わらないから、いつものように泳いできなさい」と田中監督に声をかけてもらったことで気負わずに泳げたことにあると述べました。そして「結果を残すことよりそれまでの過程が大事。つらいときこそ周りを見てほしい」とアドバイスしました。



昭和56年に国立大学として初めての体育系単科大学として設置された鹿屋体育大学からは、これまで約6000名の卒業生と600名以上の修了生が巣立ち、学校、研究機関、地方自治体、民間企業等のスポーツ・健康分野で活躍しています。記念式典で松下雅雄学長は、本学の特色として武道課程や錦江湾を活用した海洋スポーツの教育・研究への取り組み、日本の大学トップレベルにある体育・スポーツ施設・設備、社会連携・貢献事業などについて触れ、「次世代の方々にはこの四十年間で取り組み、築いてきた鹿屋体育大学の特色をさらに充実・発展させていきたいと思います」と締めくくりました。

ビデオレターより 卒業生オリンピックから後輩へのメッセージ

柴田 亜衣
2005年3月卒業
2009年3月 修士課程修了

第28回オリンピック競技大会(2004年・アテネ) 競泳女子800m自由形1位金メダル
第29回オリンピック競技大会(2008年・北京) 競泳女子400m自由形、女子800m自由形
現在の所属：(株)ブラミン

勉強も頑張っただけ！ というのがまずひとつ。あとは自分の気持ちの持ち方ひとつでいい方向にも悪い方向にもいくと思うので、入学した時に持った思いを忘れずに、充実した鹿屋ライフを送ってほしいです。50周年～100周年と続き、「私、鹿屋の卒業生だよ」という子たちが増えていくことを楽しみにしています。

高橋 航太郎
2016年3月卒業

第32回オリンピック競技大会(2021年・東京)競泳男子800mリレー出場
現在の所属：自衛隊体育学校

在学中の4年間で夢を叶えることができず、どうしてもやりたいという気持ちがあったので、卒業して社会に出て競泳を続けたことで、5年後にオリンピックに出場することができました。後輩のみなさんも、もしもやりたいことや実現させたい叶えたい夢があったら、絶対にあきらめないで最後までやってみようと思います。

橋本 英也
2016年3月卒業

第32回オリンピック競技大会(2021年・東京) 自転車競技(トラック)男子オムニウム出場
現在の所属：チームプリヂェストンサイクリング

在学中は6時前からの朝練で始まり、授業に出た後は夕練という毎日でした。学生のみなさんにはスケジュールが埋まっている幸せを感じつつ、常にアンテナを張り巡らせ、少人数の大学だからこそ可能な他の部活動の人たちや先生方とのコミュニケーションを大事に楽しみながら過ごしてほしいです。

宮田 悠佑
2014年3月卒業

第32回オリンピック競技大会(2021年・東京) カヌー男子カヤックフォア(K-4) 500m 出場
現在の所属：和歌山県教育センター 学びの丘

4年間の大学生活の中では悩みや壁にぶつかることもあると思いますが、人生を振り返って見たときに、そのときに試行錯誤したことが生かされていることに気が付くと思います。とにかく今は目の前のことに一生懸命頑張ってください。みなさんのさらなるご活躍をお祈りしています。

山本 さくら
2014年3月卒業
2016年3月 修士課程修了

第31回オリンピック競技大会(2016年・リオデジャネイロ) 自転車競技女子オムニウム出場
現在の所属：チームシエルブルー鹿屋 (スタッフアドバイザー)

人としても競技者としても大きく成長できる鹿屋で過ごす4年間を大切にしたいです。私自身、自分の意識や気持ち次第で自分の成長はどこまでも大きくできる環境が鹿屋は整っていることを実感しました。選手としてただ単に強ければいいというのではなく、周りへの感謝を忘れずに成長してほしいと思います。

50年・100年の 未来に向けて



開学四十周年記念式典当日の風景



現在の鹿屋体育大学



大学の正門前道路を渡った向かいに建つ開学記念碑



昨年全日本インカレで4年ぶり4回目の優勝を果たした女子バレーボール部
今年初の2連覇を目指します!

鹿屋体育大学沿革

- 昭和56年10月 鹿屋体育大学開学
- 昭和59年4月 第1回入学式を挙行
- 昭和60年4月 外国語教育センター設置
- 昭和62年4月 海洋スポーツセンター設置
- 昭和62年10月 第1回蒼天祭(大学祭)を開催
- 昭和63年3月 第1回卒業証書授与式を挙行
- 昭和63年4月 大学院体育学研究科体育学専攻(修士課程)設置
- 昭和63年4月 第1回大学院体育学研究科(修士課程)入学式を挙行
- 昭和63年5月 保健管理センター設置
- 平成2年3月 第1回大学院体育学研究科(修士課程)学位記授与式を挙行
- 平成2年9月 水野講堂竣工
- 平成5年10月 開講10周年記念式典を挙行
- 平成6年5月 スポーツトレーニング教育研究センター設置
- 平成10年12月 スポーツ情報センター設置
- 平成13年4月 生涯スポーツ実践センター設置
- 平成13年9月 開学20周年記念式典を挙行
- 平成15年4月 アドミッションセンター設置
- 平成16年4月 国立大学法人鹿屋体育大学設立
- 平成16年4月 大学院体育学研究科体育学専攻(博士後期課程)設置
- 平成16年8月 アテネオリンピックで柴田亜衣金メダルを獲得
- 平成18年2月 NIFSスポーツクラブ設立
- 平成18年6月 鹿屋市霧島ヶ丘にオリンピックロード誕生
- 平成19年3月 大学院体育学研究科(博士後期課程)学位記授与式を挙行
- 平成22年10月 鹿屋市と「包括的な連携に関する協定」を締結
- 平成23年4月 外国語教育センターを国際交流センターに名称変更
- 平成23年9月 開学30周年記念式典を挙行
- 平成27年3月 スポーツパフォーマンス研究棟竣工
- 平成28年4月 筑波大学との共同専攻設置
- 平成30年4月 スポーツパフォーマンス研究センター設置
- 令和2年4月 筑波大学との共同専攻改組・再編
スポーツ国際開発学共同専攻(修士課程)、大学体育スポーツ高度化共同専攻(後期3年の課程のみの博士課程)
- 令和3年6月 キャリア形成支援センター設置
- 令和3年9月 開学40周年記念式典を挙行

オリンピックロード

鹿屋市霧島ヶ丘公園には2004年のアテネオリンピック競泳女子800m自由形で、当時鹿屋体育大学の4年生だった柴田亜衣さんが金メダルを獲得したことをたたえるモニュメントが2005年に建立されました。翌年6月にはこのモニュメントを起点に長さ60m、幅6mのオリンピックロードが整備され、柴田さん出席の下で歩き初めの式典が行われました。現在ロード沿いには北京、ロンドン、リオデジャネイロのモニュメントも建立されています。



開学三十周年記念

開学三十周年を記念し、キャッチフレーズとマスコットキャラクターを募集したところ、全国からキャッチフレーズ1346作品、マスコットキャラクター204作品の応募があり、キャッチフレーズ「スポーツで未来を拓く 自分を創る」、マスコットキャラクター「パララン」が最優秀作品に決定しました。パラランは鹿屋の名産である「薔薇」を頭に、胸に大学のエンブレムを飾り、「健全で明るく活力に満ちたイメージ」をモチーフとして、「薔薇」と「ランニング」からネーミングされました。



スポーツパフォーマンス研究センター

スポーツ現場の『実践知』を科学的エビデンスとして創出し、活動現場へ還元するスポーツパフォーマンス研究を推進するための、国内初の最先端研究設備を備えた屋内研究施設。世界最長の50mフォースプレートやモーションキャプチャシステムなど最新の測定機器や、可動式カメラ架台、大型モニター2台が設置されています。



本学関係オリンピック

鹿屋体育大学に関係するオリンピックは17名います。なかでも本学に在学してトレーニングを重ね、オリンピック代表となった卒業・修了生は12名です。

氏名	卒業・修了年	出場大会	競技種目
柴田 亜衣	2003年3月卒業	2004 アテネ	競泳
	2009年3月修士課程修了	2008 北京	
津曲 勝利	1998年3月卒業	2008 北京	バレーボール
高 桑 健	2007年3月卒業	2008 北京	競泳
		2012 ロンドン	
高 鍋 絵 美	2008年3月卒業	2008 北京	競泳
		2012 ロンドン	
萩 原 麻由子	2009年3月卒業	2012 ロンドン	自転車競技
		2013年3月卒業	
前 田 佳代乃	2013年3月卒業	2012 ロンドン	自転車競技
		2004 アテネ	
		2008 北京	
		2012 ロンドン	
松 田 丈 志	2017年3月 博士後期課程単位修得満期退学	2016 リオデジャネイロ	競泳
		2012 ロンドン	
内 間 康 平	2011年3月卒業	2016 リオデジャネイロ	自転車競技
		2016 リオデジャネイロ	
山 本 さくら (旧姓・塚越)	2014年3月卒業 2016年3月修士課程修了	2016 リオデジャネイロ	自転車競技
		2016 リオデジャネイロ	
宮 田 悠 佑	2014年3月卒業	2020 東京	カヌー
橋 本 英 也	2016年3月卒業	2020 東京	自転車競技
高 橋 航太郎	2016年3月卒業	2020 東京	競泳

開学四十周年記念グッズ

記念式典に訪れた参加者には当日のプログラムとクリアファイル、マスクが入ったオリジナルバッグが配られました。また、卒業生の声を受け、公式ピンバッジも作成されました。



鹿屋体育大学と鹿屋市 令和3年度の連携協議会を開催

10月4日、鹿屋体育大学において、令和3年度国立大学法人鹿屋体育大学と鹿屋市との連携協議会が開催されました。本協議会は、相互の人的・知的資源の交流・活用を図り、緊密な連携・協力関係の構築を目的とした協定に基づくもので、今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、Web会議を併用して開催されました。

協議会の冒頭で、松下雅雄学長より、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種への支援及び鹿屋体育大学の開学四十周年記念式典への出席について、お礼の言葉が述べ

られました。また、中西茂鹿屋市長からは、スポーツ合宿やBluno Windsの取り組みを継続して実施し、さらに連携を深めていきたいとの挨拶がありました。

協議会では、スポーツ合宿まちづくり推進事業やBlue Winds事業等、鹿屋体育大学と鹿屋市がそれぞれ主催・企画している連携事業について報告され、例年どおりの事業の実施が困難ではあるが、10月以降は新型コロナウイルス感染症のまん延防止等重点措置も解除されるため、感染防止対策を講じながら、実施に向けて積極的に取り組むことが確認されました。

また、新たに鹿屋市が検討している連携事業について、積極的な意見交換が行われました。



5分間の運動 Exseed(イクシード) KKBの番組『ですです。』とタイアップ

鹿屋体育大学が開発し、KKB鹿児島放送の共同プロジェクトとして推進している5分間の運動「Exseed(イクシード)」。そのショートバージョン(15秒)が、毎週金曜日午前9時55分からKKBで放送中の番組『ですです。』のエンディングに登場しています。

11月は「リズムに乗って体を動かそう!!」、12月は「たくさん動いて心も体もポカポカ!!」といった具合に月ごとにテーマを決め、指導はダンス部の有蘭ゆいさん(主将・スポーツ総合課程4年、鹿児島純心女子短期大学・鹿児島、弓



KKBのスタジオで半年分の収録後に記念撮影。左から弓場さん、指導者、武田さん、有蘭さん

場葉月さん(同2年、浜松工業高等学校・静岡)、武田大地さん(同4年、山形南高等学校・山形)の3人が月替わりで指導者として画面に登場、顧問教員の柊ちか子講師が解説のナレーションを担当しています。

番組では最後の1分間をExseedの時間とし、学生の動画とともに毎回保育園児や幼稚園児がExseedにトライする様子が放送されます。

闘いの記録 8月~10月

【陸上競技】

■第90回日本学生陸上競技対校選手権大会

(9/17~19 埼玉/熊谷スポーツ文化公園陸上競技場)

▽男子	三段跳	3位	岩崎 孝史
	砲丸投	3位	金城 海斗
▽女子	800m	7位	仲道 彩音

■第91回九州学生陸上競技対校選手権大会

(8/27~29 福岡/久米総合スポーツセンター陸上競技場)

▽男子	800m	1位	山田 大詩
	1500m	1位	小手川 聖修
	3000m障害	1位	大園 倫太郎
▽女子	5000m	1位	中島 紗弥
	10000m	1位	枝尾 祐希

【テニス】

■令和3年度全日本学生対抗テニス王座決定試合九州地区予選

(9/13~16 鹿児島/鴨池運動公園)

▽男子	団体	1位	鹿屋体育大学
▽女子	団体	1位	鹿屋体育大学

【体操競技】

■第75回全日本学生体操競技選手権大会

(8/31~9/4 静岡/草薙総合運動場体育館)

▽男子	団体総合	2位	鹿屋体育大学
	個人総合	5位	藤巻 竣平
	種目別あん馬	4位	津村 涼太
		6位	藤巻 竣平
		8位	山口 智輝
	種目別つり輪	4位	金田 希一
		7位	上山 廉太郎
	種目別ゆか	3位	上山 廉太郎
		4位	金田 希一
		6位	藤巻 竣平
	種目別跳馬	2位	上山 廉太郎
	種目別鉄棒	6位	藤巻 竣平
	種目別平行棒	5位	長谷川 毅

■第54回全日本シニア体操競技選手権大会

(9/23 山形/酒田市国体記念体育館)

▽男子	個人総合	2位	杉野 正亮
	種目別鉄棒	1位	杉野 正亮
	種目別跳馬	5位	杉野 正亮
	種目別あん馬	6位	杉野 正亮

■第64回九州学生体操競技新人大会

(9/26 熊本/熊本県立総合体育館)

▽男子	団体総合	1位	鹿屋体育大学
	個人総合	1位	津村 涼太
	種目別あん馬	1位	津村 涼太
	種目別つり輪	1位	山口 智輝
	種目別平行棒	1位	井上 桂蔵

【水泳】

■第68回全国国立大学選手権水泳競技大会

(8/7~9 秋田/秋田県立総合プール)

▽男子	学校対抗	2位	鹿屋体育大学
	100mバタフライ	2位	榊 大希
		3位	菊池 玲希
	100m自由形	1位	田中 一光
	100m背泳ぎ	4位	中園 剛志
	100m平泳ぎ	3位	榎田 大己
		8位	居石 錬成
	200mバタフライ	1位	榊 大希
		5位	横山 葉優

200m個人メドレー	4位	戸田 亮真	
200m自由形	1位	水上 瑠日	
	2位	田中 一光	
	2位	中園 剛志	
200m背泳ぎ	2位	榎田 大己	
200m平泳ぎ	2位	直江 篤樹	
	5位	戸田 亮真	
400m個人メドレー	1位	堀内 健裕	
	4位	水上 瑠日	
400m自由形	1位	田中 和也	
	3位	田中、菊池、水上、田切	
400mフリーリレー	1位	中園、居石、榊、田中	
400mメドレーリレー	2位	田中、水上、榊、田切	
800mフリーリレー	1位	鹿屋体育大学	
▽女子	学校対抗	2位	久保田 梨琉
	50m自由形	1位	伊藤 香乃
		4位	田中 さくら
		5位	中野 帆波
100mバタフライ	5位	久保田 梨琉	
	6位	伊藤 香乃	
100m自由形	1位	田中 さくら	
	6位	寺坂 優里	
200mバタフライ	3位	吉原 杏実	
	4位	宮崎 菜々子	
200m個人メドレー	2位	高宮 玲音	
	2位	高宮 玲音	
200m自由形	2位	高宮 玲音	
	2位	高宮 玲音	
200m平泳ぎ	4位	宮崎 菜々子	
400m個人メドレー	1位	吉原 杏実	
	3位	岡 莉子	
400m自由形	2位	高宮 玲音	
	3位	高宮 玲音	
200mフリーリレー	2位	伊藤、久保田、高宮、讚岐	
400mフリーリレー	2位	久保田、高宮、伊藤、讚岐	
400mメドレーリレー	3位	吉原、宮崎、田中、久保田	

■第97回日本学生選手権水泳競技大会

(10/7~10/10 東京/東京辰巳国際水泳場)

▽男子	200m平泳ぎ	6位	榎田 大己
	100mバタフライ	6位	榊 大希
▽女子	50m自由形	4位	久保田 梨琉
	100m自由形	6位	久保田 梨琉

【柔道】

■2021年度九州学生柔道体重別選手権大会

(男子39回 女子36回) (9/1~2 福岡/福岡大学総合体育館)

▽男子	60kg級	1位	福田 大悟
	66kg級	1位	鎌田 樹
	73kg級	1位	松永 諒人
	81kg級	1位	山口 良太
	90kg級	1位	吉野 弘人
	100kg級	1位	福井 優駿
	100kg超級	1位	永田 賢斗

【剣道】

■第60回全日本女子剣道選手権大会

(9/19 奈良/ジェイテクトアリーナ奈良)

▽女子	1位	妹尾 舞香
	3位	東堅 嘉伶

■第68回全九州学生剣道大会

(10/3 福岡/九州産業大学体育館)

▽男子	団体	1位	鹿屋体育大学
-----	----	----	--------

■第44回九州女子学生剣道大会

(10/3 福岡/九州産業大学体育館)

▽女子	団体	1位	鹿屋体育大学
-----	----	----	--------

【自転車競技】

■文部科学大臣杯第76回全日本大学対抗選手権自転車競技大会

(トラック:8/13~15 長野/松本市美鈴湖自転車競技場、ロード:8/21~22 群馬/群馬サイクルスポーツセンター)

▽男子	総合成績	4位	鹿屋体育大学
	30kmマディソン	7位	古谷田、伊澤
	4kmチームパーシュート	4位	西原、古谷田、伊澤、津留
	オムニアム	5位	西原 裕太郎
	スプリント	3位	黒瀬 浩太郎
		4位	山根 慶太
	タンデムスプリント	3位	田仲、成海
	チームスプリント	2位	黒瀬、山根、宮田
▽女子	総合成績	1位	鹿屋体育大学
	20kmマディソン	2位	石上、成海
	3kmインディヴィデュアルパーシュート	4位	成海 綾香
		5位	石上 夢乃
	500mタイムトライアル	3位	中西 美央
		5位	成海 綾香
	オムニアム	2位	石上 夢乃
	スプリント	3位	中西 美央
	チームスプリント	1位	成海、中西
	個人ロードレース	1位	石上 夢乃
		3位	成海 綾香

■第36回全日本学生選手権個人ロードレース大会

(9/18~19 群馬/群馬サイクルスポーツセンター)

▽男子	4位	古谷田 貴斗	
	7位	大河内 将泰	
▽女子	オープン	3位	石上 夢乃

【カヌー】

■第57回全日本学生カヌースプリント選手権大会

(8/24~29 山形/月山湖カヌースプリント競技場)

▽男子	総合成績	2位	鹿屋体育大学
	C-1 200m	1位	岩男 凌
		2位	高比良 海斗
	C-1 1000m	1位	吉田 俊吾
		6位	田中 智貴
	C-1 500m×4リレー	1位	岩永、田中、岩男、吉田
		1位	田中、岩永
	C-2 200m	2位	池口、原田
		3位	北崎、高比良
	C-2 1000m	4位	岩男、原田
		3位	田中、岩永、岩男、吉田
	C-4 1000m	3位	田中、岩永、岩男、吉田
	K-1 200m	4位	下川 拓樹
		7位	内田 海斗
	K-1 500m×4リレー	2位	安藤、内田、松本、下川
		5位	安藤、佐々木
	K-2 200m	7位	鳥越、安藤
	K-2 1000m	7位	鳥越、安藤
	K-4 1000m	6位	下川、内田、松本、鳥越

【なぎなた】

■第60回全日本学生なぎなた選手権大会

(8/8 山形/山形総合運動公園総合体育館)

▽女子	試合競技 団体の部	1位	鹿屋体育大学
	試合競技 個人の部	3位	春山 りんか
	演技競技	2位	秋葉、上間